



相模原市立千木良小学校 学校だより

千木良小だより



自ら学び 心豊かに 生きる子の育成

令和8年9月1日 No.6

2学期のスタート ～みんな違って みんないい～

学校長 門倉 恭子

2学期がスタートしました。8月25日の始業式の日、何よりも嬉しかったことは、46人全員が出席だったことです。大きなケガや病気もなく夏休みを過ごして、初日の登校ができたこと。ご家庭の協力がなくてはあり得ないことです。ありがとうございました。

2学期の始業式、私は、子どもたちにクイズを出しました。



バナナと消しゴム、似ているところはどこでしょう？

30秒のシンキングタイムの後、子どもたちの考えを聞きました。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| *皮がついている（消しゴムは紙のケース） | *めくらないと使えない（食べられない） |
| *四角い部分がある（バナナは軸のところ） | *黒い部分がある（消しゴムは鉛筆の芯の色がつく） |
| *食べたり消したりすると、中身が減っていく | |
| *どちらも長い | *ちょっとやわらかい |
| *手で折れる | *ゴミが出る |

それぞれの考えが発表されると、「お～！」という声や「確かに」という驚きや納得の声が聞こえました。私が予想していなかった考えも出てきて、子どもたちの柔らか頭、豊かな発想には脱帽です。

一つのものを見ても、人によって「形」に気づく人もいれば、「使い道」に気づく人もいます。人間は一人ひとり、見方や考え方が違います。違っていても当たり前のことです。

2学期の学校生活でも、友だちと意見が違ふことがたくさん出てきます。そんなとき、「ぼくと違うからお前は間違っている！」と責めるのではなく、「なるほど！あなたはそこに気づいたんだね」「そんな考え方もあるんだ！」と、一度友だちの言葉を受け止めてみる。こと。「あの子の考えも、ぼくの考えも、どちらも素敵だな」と認め合える心。そんな「優しい心」が広がる2学期になることを伝えるために、私はこのクイズを出しました。

色々な考えが集まるからこそ、1人ではできなかったすごい行事が成功したり、クラスがもっと楽しくなったりします。2学期には、みんなで考えを出し合って進めていく、行事や活動がたくさんあります。失敗や違いを恐れずに、みんなの「なるほど！」がたくさん響く、温かい2学期にしたいと思っています。



先日、津久井警察署の警察官の方、警察のOBであるスクールサポーターの方を講師に迎え、「不審者が学校に侵入してきたらどうするか」の職員研修を行いました。不審者を刺激することなく、不審者が子どもたちに危害を加えないように、安全に不審者を警察に引き渡す訓練です。その中で、講師の方から、不審者が「この学校には入りづらい」と思わせる環境を作ることが大切だということ学びました。現在、子どもたちがいる時間帯は玄関の施錠を実施して対応していますが、夜間等、人がいない時間帯にも校舎に入りづらい環境を作って、153年という長い歴史を作ってきた千木良小学校を守っていきたいと思っています。そこで、2学期より、学校に入ることのできるすべての門の施錠を行うこととしました。時間外に利用が必要な場合は、学校（TEL：042-685-0112）へ事前の連絡をお願いいたします。